



中小企業における IoT 導入、活用のための課題

現在、IoT、ビッグデータ、人工知能等新たな技術の出現により、「第4次産業革命」とも呼ばれる変革が起きている。

IoT (Internet of Things (モノのインターネット) の略) についても、新聞等でほぼ毎日どこかの企業による IoT 導入の記事が掲載されているが、殆どが大企業の事例であり、日本の中小企業において、特に製造業において「本格的な IoT システム」を導入したという事例は少ない。

日本商工会議所によれば、「中小企業では、IoT 等に対する関心はあるものの、現時点では自社での必要性が実感できない現状」にあり、また、導入・活用にあたっての課題として「社内 IT 人材の不足、導入効果の判断の困難さ、高いインシヤルコスト等」をあげている (平成 28 年 4 月「中小企業の IoT 推進に関する意見」)。

ここで中小企業において IoT を活用して、生産性の向上やビジネス品質の向上を図っている事例を、農業、情報サービス業の分野から紹介する。

株式会社早和果樹園 (和歌山県、従業員 46 名) では、みかん栽培に IoT 技術を導入している。センサーやスマートフォンを使って気温、降水量、土壌温度などのデータや樹木の状態などを農業クラウドシステムに収集・蓄積し、そのデータ分析により生産性の改善を図っている。

株式会社ジェイエスピー (神奈川県、従業員 121 名) では、IoT 技術を利用した動物見守りセンサーシステム (製品名 monipet) を自社開発し、全国の動物病院に販売している。このシステムは、カメラで動物の様子を見守るだけでなく、非接触型のレーダーセンサーにより、犬猫に負担をかけることなくその体動状態を監視して呼吸の異常や発作を検知し、ブザー音やスマートフォンへの通知により、アラートを出すことを可能としている。

中小企業が IoT を導入し、活用していくためには、中小企業向けの有用かつ安価な IoT ツール (プラットフォームや安価で安全な通信網等) を共有出来る仕組みが必要である。今後、IoT 活用の先進事例が共有され、その活用により中小企業者が消費者の多様な需要に対応可能な生産体制やサービス対応が可能となり、生産性が向上することが期待される。

(執筆者: C の会 長坂啓司)

※ JRS 経営情報の中から、次のコンテンツを参考にしてください。

- インダストリー 4.0 と日本の製造業 (2016-0554)
 - IoT 時代がやってくる (2016-0600)
 - ものづくり関連の IoT 事例の紹介 (2016-0601)
 - 中小企業における IoT の活用事例 (2016-0606)
 - IoT のセキュリティ対策 (2016-0605)
- () 内は情報番号です

なお、お客様にコンテンツを提供される場合には、最初のページに「サンプル」と表示してください。またお探しの情報が不明な場合はご連絡ください。(☎0120-89-0240)